

子ども

家庭で暴力を受けている子どもは、助けを必要としています。

DVは子どもにも影響を与えます

子どもがDVを経験すると、成長に悪影響を及ぼします。また、暴力が直接子どもに向けられていない場合も同様です。

声を上げることなく苦しんでいる子どもや、さまざまな症状を示す子どもがいます。例：学校での問題やおねしょ、頭痛、摂食・睡眠障害、他の子どもとの交友関係の問題、攻撃性など。

こちらで子どもの支援が受けられます

オブファーhilfue [Opferhilfe] (Opferhilfe) は、DVを受けた児童や青少年の相談を行っています。オブファーhilfue [Opferhilfe] (Opferhilfe) に関する詳細情報は、こちらをご覧ください。

育成局の児童・青少年サービスKJD [Kinder- und Jugenddienst KJD] (Kinder- und Jugenddienst KJD) は、児童や青少年の健全な成長を支援しています。児童や青少年は、家族の対立などについて、ここで支援を得られます。

子どもにできることは？

DVを受けている子どもは、家族以外の人に相談することが大切です。例：教師、学校のソーシャルワーカー、両親の友人、隣人

プロ ユーヴェントゥーテ (Pro Juventute) では、昼夜を問わず電話で相談できます。専門家は相談内容について誰にも話しません。彼らは話に耳を傾け、解決策を探る手助けをします。

プロ ユーヴェントゥーテ (Pro Juventute) への通話は無料です。匿名で相談できます。また、プロ ユーヴェントゥーテ (Pro Juventute) は、SMSやチャット [E、Eメール] でも連絡できます。

詳細（リンク、連絡先、冊子、リーフレット）

www.hallo-baselstadt.ch/ja/domestic-violence/children